

掲載専攻

ビジネス科学研究科

- 経営システム科学専攻（博士前期課程）
- 企業法学専攻（博士前期課程）
- 企業科学専攻（博士後期課程）
- 法曹専攻（専門職学位課程）「法科大学院」
- 国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）

人間総合科学研究科

- スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）
- 生涯発達専攻（博士前期課程）
- 生涯発達科学専攻（博士後期課程）
- スポーツウエルネス学位プログラム（3年制博士課程）



筑波大学
University of Tsukuba

ビジネス科学研究科 人間総合科学研究科（東京地区）

夜間大学院



UNIVERSITY OF TSUKUBA
GRADUATE SCHOOL GUIDE

ビジネス科学研究科 —夜間大学院—

研究科の教育目標

ビジネスの分野における高度専門職業人の養成・再教育に関する社会的要請に応えるため、社会人を主たる対象として、企業や社会が直面する新たな類型の問題について総合的かつ高度な判断能力を持ち、適切な解決策を提示できる高度専門職業人や法曹を養成する。

研究科の求める人材

社会で活躍している高度職業人の再教育を主眼としているため、原則として企業、官庁等において一定の実務経験を有し、かつ、そこで発見した諸問題について専門的知識と科学的思考方法によって解決しようとする意欲と能力を有する学生。

研究科の入学選抜方針

入学者の選抜に当たっては、各専攻の目的に応じ、研究計画書、筆記試験、口述試験、実務経験を総合的に評価する。

1 経営システム科学専攻（博士前期課程）

■教育目標

ビジネスを遂行する上での課題を自ら発見し、その本質を分析・理解し、最新の理論や手法を駆使することで、解決策を確立・実践できる能力を養い、今日のトップマネジメントを強力にサポートする人材、さらには将来のトップマネジメントとなりえる人材の育成を目標とする。

■求める人材

入学時において企業、官公庁等で概ね1年以上の有職経験を有し、かつ、それに裏打ちされた高い問題意識を持つ学生。

■入学選抜方針

研究計画書（問題意識、研究のアプローチ、専門的知識のレベル、研究の実現可能性および独創性、文章表現能力を評価）、小論文（ビジネスや社会の諸問題に対する関心の広さと理解の深さ、論理的思考能力、文章表現能力を評価）、口述試験（研究計画書の内容の理解度、専門的知識のレベル、学習や研究への意欲、自分の考えを表現する能力を評価）の成績を総合して評価する。

2 企業法学専攻（博士前期課程）

■教育目標

企業法学の分野における社会のニーズに対応できる高度専門職業人の養成・再教育を目標とする。

■求める人材

入学時において企業等で、概ね1年以上の有職経験を有し、そこで生じる多様な諸問題を、法学的専門知識と思考方法によって解決しようとする意欲と能力を有する学生。

■入学選抜方針

入学者の選抜に当たっては、小論文試験、口述試験、研究計

画書等を審査し、上記の能力を有するかどうかを総合的に評価する。

3 企業科学専攻（博士後期課程）

■教育目標

システムズ・マネジメントコース及び企業法コースの2コース制の下、企業や社会が直面する新たな類型の問題の認識、分析、解決策の策定等を創造的に行うことのできる人材に必要な能力の涵養及び統合を目指し、その成果として博士号の取得を目標とする。

■求める人材

企業や社会で活躍している高度職業人の再教育を主眼としているため、入学時において企業、官公庁等で概ね2年以上の有職経験を有し、かつ、それに裏打ちされた高い問題意識を持つ社会人。

■入学選抜方針

求める学生像に該当する者を選抜するため、以下の基本方針により入学選抜を行う。

- ・システムズ・マネジメントコースでは、修士論文又はそれに相当する学術論文が一定レベル以上であり、一定の語学力と専門知識を有し、明確な研究計画を有しているかを評価する。
- ・企業法コースでは、修士論文又はそれに相当する学術論文が一定レベル以上であり、一定の語学力と法学の知識を有し、明確な研究計画を有しているかを評価する。

4 法曹専攻（専門職学位課程）法科大学院

■教育目標

社会人が主たる対象となるので、その実務経験に基づいた法的な問題解決能力を涵養する。未修者については3年、既修者については2年で法曹として必要な能力を身につけることを目標とする。

■求める人材

社会人としての実務経験を有する者であって、法的な問題を発見し、理論的に分析する能力を獲得することによって、将来、すでに獲得した知識・経験・技能と法的な知識・技能とを結びつけて、リーガル・サービスを提供しようと希望する者。

■入学選抜方針

入学選抜は、未修者及び既修者を対象に行う。
（詳細は、募集要項で確認してください。）

5 国際経営プロフェッショナル専攻（専門職学位課程）

■教育目標

学生が、①経営と技術の両領域を網羅した知識や技能によって国際経営において迅速かつ最適な意思決定ができる力量、②高度な職務遂行能力を獲得するため自律的にキャリアプランを立て

その実現に向けて行動する資質、③国際的経営環境における職務遂行能力を組織内で効果的に発揮できる力量、を獲得することを目標とする。

■求める人材

①多様性の高い学習環境において、文化的感受性と創発的なコミュニケーションができる英語力を持ち、②主体的な問題意識や自律的な行動様式を備え、③将来、営利又は非営利グローバル組織の国際本部および現地事業所、あるいは地域横断的なプロジェクトにおいて、中枢マネジメント人材として活躍するキャリアを目指す社会人有職者（もしくは職務経験者）

■入学者選抜方針

書類審査（願書、ビジネスプロジェクトの実習計画等を記したエッセイ、卒業大学における成績証明書、上司等の推薦状、職務経歴や修了後のキャリア計画など）、英語能力審査及び口述試験の結果から、経営プロフェッショナル候補としての職業経歴、問題意識・分析技能・実習計画の妥当性を総合的に評価する。

人間総合科学研究科（東京地区） 一 夜間大学院

研究科の教育目標

医学の課程、博士後期課程及び3年制博士課程においては、幅広い国際的な視野と総合的な知識・技能を養うとともに、自立的・創造的でかつ学際的な高度の研究教育能力及び社会を牽引できる専門実務能力を養うことを目標とする。

修士課程及び博士前期課程においては、幅広い国際的な視野と総合的な知識・技能を培うとともに、専攻分野における研究の実施及び社会的ニーズに対応できる専門実務能力を培うことを目標とする。

研究科の求める人材

研究科では、「人間」あるいは「人間社会」について高い関心をもち、さまざまな角度からそれを考え、人間自身について解決しようとする意欲がある学生を求める。

研究科の入学者選抜方針

研究科は、人間系、体育・芸術系、医学系及び学際系の諸学問領域が連携し、共通の研究対象である「人間」をキーワードとして、幅広く「人間」を研究する研究科である。

入学者選抜においては、こうした研究科の組織特性を生かし、多様性、統合性、国際性を基調とした柔軟かつ弾力的な入学要件、選抜方式あるいは選抜基準を設定する。

具体的には、幅広い地域から多様な留学生を積極的に受入れ、国費・私費留学生への特別の配慮をはじめ、7月期、8月期、9月期、10月期、11月期、2月期の入試を実施するとともに、推薦入学試験や一般入学試験をはじめ、社会人（特別）選抜入試といった多様な選抜方式、小論文や面接、実技等を取り入れた多面的な選抜基準を特色としている。このほか、特別な選抜試験として、ダブルメジャープログラムに係る入学試験、医学系及び学際系における連携大学院入学試験を実施している。

なお、各専攻の募集人員は、入学定員の範囲で、入学試験ごと

に各専攻が定め、出願することができる者は大学院学則第12条から第14条に規定する入学資格を入学の時期に満たすことができる者とする。

また、合格候補者の決定にあたっては、提出書類及び学力検査の結果を専攻教育会議において総合的に判定し、研究科運営委員会において決定する。

1 スポーツ健康システム・マネジメント専攻（修士課程）

■教育目標

スポーツと健康に関連する多くの基本政策を実現し、かつ将来的な基本デザインを開発・設計できる実務能力を有した人材の育成を目指すと共に、更に発展的視野を有した研究者としての素地の育成を図る。内容としては、スポーツと健康の推進（プロモーション）に関する政策と戦略の企画・立案・分析能力、必要な資源を査定しシステム化する能力、高度なシステムを適切にマネジメントする能力、合理的なプログラムを開発する能力等の育成ならびに実践的研究者としての育成を目的とする。

■求める人材

体育・スポーツの推進並びに心身の健康増進にかかわる実務実績と基礎知識を有し、これを基盤としたリカレント教育を通して研究能力を高めようとする意欲や関心を持ち、高度専門的な職業人として各種関連領域で活躍できる人材を求める。

■入学者選抜方針

（推薦入試）書類審査及び口述試験を通して、求める人材に相応しい資質・能力・将来性について、判定し選抜する。

（一般入試）書類審査、専門科目試験及び口述試験を通して、求める人材に相応しい資質・能力・将来性について判定し選抜する。

2 生涯発達専攻（博士前期課程）

■教育目標

現代社会人が職場において遭遇し、かつ早急にその解決が求められている諸問題について、広い視野で対応と発展に必要な、生涯発達学的視点に基づきカウンセリングおよびリハビリテーションの包括的基盤教育を行う。とくに、国際的・学際的な研究成果と方法論等を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について科学的・実践的・開発的に解決して社会に貢献する高度専門職業人や大学教員などを養成する。

■求める人材

生涯発達に方向づけたカウンセリングおよび、リハビリテーション領域における幅広い視野の獲得と専門性の深化や開発、さらに研究技法の習得に意欲や関心をもつ者、特に、医療・保健機関や福祉・相談施設、専門職養成機関、特別支援学校・学級、障害者職業センター、行政機関、企業等での専門職務経験を有する者が望まれるが、これらの職種に限定せず幅広い分野からの意欲的な人材を求める。

■入学者選抜方針

入学選抜は、論述試験及び口述試験、研究計画書等を審査し、職業人としての能力や実績を含めて総合的に評価する。

3 生涯発達科学専攻（博士後期課程）

■教育目標

生涯発達の各人生段階において遭遇する、心理・社会・教育・保健・医療・福祉などの幅広い領域における課題について、現職職業人の立場と経験を活かしつつ、生涯発達の視点から、包括的、組織的に解決する研究能力を備えた研究型高度職業人、研究者、大学教員などを養成する。

■求める人材

現職社会人の立場と経験を活かしつつ、生涯発達に関わる実践的課題について、カウンセリングおよびリハビリテーションの技術を駆使して、主体的かつ意欲的な探求を行うことができる人材を求める。特に、企業や学校関係（特別支援学校や特別支援学級を含む）、心理関連領域、医療・保健機関、福祉・相談施設、心理・リハビリテーション従事者養成機関、職業センターや障がい者を雇用する企業、行政機関などでの職務経験を有する方が望まれる。

■入学者選抜方針

入学者選抜に際しては、外国語試験及び口述試験を行い、職業人としての能力や研究実績を含めた総合評価を行う。

4 スポーツウエルネス学位プログラム(3年制博士課程)

■教育目標

スポーツウエルネス領域に係る国内外の重要課題解決のために、博士レベルの高度な専門知識を保有した上で、イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力を併せ持つ高度専門職業人を養成することを目標とする。

■求める人材

スポーツウエルネス領域に係る国際機関等のグローバルなレベルで日本を代表して調整を行える人材、あるいは政府及び関連機関、地方自治体等において、課題解決プロジェクトの推進リーダーを務める人材を求める。

■入学者選抜方針

体育学あるいは保健学分野に関連する研究業績（修士号）を有し、スポーツプロモーションあるいはヘルスプロモーション分野における2年以上実践経験を有する者で、国際的なマネジメントを推進することが可能な語学力及びコミュニケーションの能力を有する者を選抜する。

〈入試主要日程 ビジネス科学研究科〉下記以外の入試日程については、詳細が決まり次第本学ホームページ等に掲載します。

専攻	実施時期	募集要項	入学願書受付	学力検査	合格発表
(博士前期課程) 経営システム科学	2018年11月	2018/5/25(金)	2018/9/25(火)～ 2018/10/6(土)	(筆記) 2018/11/10(土) (口述) 2018/11/10(土) 2018/11/11(日)	2018/11/30(金)
(博士前期課程) 企業法学	2018年9月	2018/4/13(金)	2018/7/3(火)～ 2018/7/14(土)	(筆記・口述) 2018/9/2(日)	2018/10/2(火)
(専門職学位課程) 国際経営プロフェSSIONAL	2018年11月	2018/4/13(金)	2018/9/11(火)～ 2018/9/29(土)	(口述) 2018/11/10(土) 2018/11/11(日)	2018/11/30(金)
(専門職学位課程) 法曹	2018年9月 10月	2018/5/11(金)	2018/8/6(月)～ 2018/8/22(水)	(筆記) 未修者 2018/9/17(月) 既修者 2018/9/23(日) (口述) 2018/10/21(日)	2018/11/2(金)
(博士後期課) 企業科学 システムズ・マネジメントコース	2018年9月	2018/4/13(金)	2018/7/3(火)～ 2018/7/14(土)	(口述) 2018/9/2(日)	2018/10/2(火)
(博士後期課) 企業科学 企業法コース	2018年9月	2018/4/13(金)	2018/7/3(火)～ 2018/7/14(土)	(筆記・口述) 2018/9/2(日)	2018/10/2(火)

〈入試主要日程 人間総合科学研究科(東京地区)〉 下記以外の入試日程については、詳細が決まり次第本学ホームページ等に掲載します。

専攻	実施時期	募集要項	入学願書受付	学力検査	合格発表
(修士課程) スポーツ健康システム・ マネジメント	〈推薦〉 2018年7月 〈一般〉 2018年9月	2018/5/11(金)	〈推薦〉 2018/6/12(火)～ 2018/6/23(土) 〈一般〉 2018/7/3(火)～ 2018/7/14(土)	〈推薦〉(口述) 2018/7/14(土) 〈一般〉(筆記・口述) 2018/9/1(土)	〈推薦〉 2018/8/1(水) 〈一般〉 2018/10/2(火)
(博士前期課程) 生涯発達 カウンセリングコース リハビリテーションコース	2018年8月	2018/4/13(金)	2018/7/3(火)～ 2018/7/14(土)	2018/8/25(土) (筆記) 2018/8/26(日) (口述)	2018/10/2(火)
(博士後期課程) 生涯発達科学	2018年11月	2018/5/18(金)	2018/9/25(火)～ 2018/10/6(土)	2018/11/10(土) (筆記) 2018/11/11(日) (口述)	2018/11/30(金)
(3年制博士課程) スポーツウエルネス 学位プログラム	2018年11月	2018/5/25(金)	2018/9/25(火)～ 2018/10/6(土)	2018/11/10(土) (口述)	2018/11/30(金)

注) 1. 入学願書受付期間については、今後、一部変更する場合がある。

〈募集要項〉 <http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp>
〈過去問〉 <http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/pastexam/>

専攻		閲覧	コピー	郵送	電話番号
ビジネス科学研究科	経営システム科学専攻	○	○	○	03-3942-6816, 6817
	企業法学専攻	○	○	○	03-3942-6816, 6817
	企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース	口述試験のみのため過去問なし			03-3942-6816, 6817
	企業科学専攻 企業法コース	○	○	○	
	法曹専攻	○	○	○	03-3942-6815, 6812
	国際経営プロフェッショナル専攻	口述試験のみのため過去問なし			03-3942-6816, 6817
人間総合科学研究科	スポーツ健康システム・マネジメント専攻	○	○	○	03-3942-6814
	生涯発達専攻	○	○	○	03-3942-6918
	生涯発達科学専攻	○	○	○	03-3942-6918
スポーツウエルネス学位プログラム		口述試験のみのため過去問なし			03-3942-6814

〈教員一覧〉

■ 経営システム科学専攻	http://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/master_professor
■ 企業法学専攻	http://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/master/professors.html
■ 企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース	http://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/doctor_professor
■ 企業科学専攻 企業法コース	http://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/doctor/professors.html
■ 法曹専攻	http://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/
■ 国際経営プロフェッショナル専攻	http://www.mbaib.gsbs.tsukuba.ac.jp/facultyindex/
■ スポーツ健康システム・マネジメント専攻	http://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/courseinfo/
■ 生涯発達専攻 カウンセリングコース	http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/teacher/
■ 生涯発達専攻 リハビリテーションコース	http://www.human.tsukuba.ac.jp/rehabili/teacher/
■ 生涯発達科学専攻	http://www.human.tsukuba.ac.jp/lifespan/teacher/
■ スポーツウエルネス学位プログラム	http://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/courseinfo/

〈シラバス〉

■ 経営システム科学専攻	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 企業法学専攻	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 企業科学専攻 企業法コース	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 法曹専攻	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 国際経営プロフェッショナル専攻	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ スポーツ健康システム・マネジメント専攻	https://kdb.tsukuba.ac.jp/
■ 生涯発達専攻 カウンセリングコース	http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/syllabus/
■ 生涯発達専攻 リハビリテーションコース	http://www.human.tsukuba.ac.jp/rehabili/syllabus/
■ 生涯発達科学専攻	http://www.human.tsukuba.ac.jp/lifespan/subject/
■ スポーツウエルネス学位プログラム	https://kdb.tsukuba.ac.jp/

問い合わせ先

ビジネス科学研究科、人間総合科学研究科（スポーツ健康システム・マネジメント専攻、生涯発達専攻、生涯発達科学専攻、スポーツウエルネス学位プログラム）に関して

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1

筑波大学 社会人大学院等支援室 教務担当

TEL 03-3942-6918

インターネット ホームページ

ビジネス科学研究科	http://www.gsbs.tsukuba.ac.jp/
■ 経営システム科学専攻	http://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/
■ 企業法学専攻	http://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/
■ 企業科学専攻 システムズ・マネジメントコース	http://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/
■ 企業科学専攻 企業法コース	http://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/
■ 法曹専攻	http://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/
■ 国際経営プロフェッショナル専攻	http://www.mbaib.gsbs.tsukuba.ac.jp/

人間総合科学研究科

■ スポーツ健康システム・マネジメント専攻	http://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/
■ 生涯発達専攻（カウンセリングコース）	http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/
■ 生涯発達専攻（リハビリテーションコース）	http://www.human.tsukuba.ac.jp/rehabili/
■ 生涯発達科学専攻	http://www.human.tsukuba.ac.jp/lifespan/
■ スポーツウエルネス学位プログラム	http://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/